

ぐんせいち オニバスの群生地

所在地：南あわじ市 阿万



オニバス 出典：兵庫県資料

オニバスは、世界で最も大きくなる一年草の水草です。夏には、直径2 m程度の葉を5枚ほど広げ、50個程度の花をつけます。

淡路島は、200万年前まではそのほとんどが湖に沈んでおり、オニバスは湖の浅瀬に葉を広げていたと考えられています。その後、気候の変動により現在の淡路島が形づくられるなか、オニバスは沼や川に閉じ込められ、平成8年まで旧南淡町阿万地区に自生していました。

河川への塩分の侵入などにより、オニバスは姿を消してしまいましたが、最後の種子を大切に守り、現在では洲本文化資料館前の堀でその後継種が育てられています。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

淡路文化資料館へは、神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図